

HORIGUCHI COFFEE Letter

No. 15
2024.1.9

年初から胸が痛む出来事が続いていますが、被災された方や事故に遭われた方に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日でも早く日常が戻ることをお祈り申し上げます。多くの方々に少しでも安らぎをお届けできるよう、堀口珈琲は今日もコーヒーを作り続けます。



奥地にある「ハロ・ハディ」農家のみなさんと5年ぶりの再会



コーヒーチェリーの出来をチェックする若林

<代表・若林よりご挨拶>

あけましておめでとうございます。

2024年が始まりました。基本に忠実にスペシャルティコーヒーの本質をみなさまにお届けすべく精進してまいりますので、今年も堀口珈琲をどうぞよろしく願いいたします。

2023年は日本のスペシャルティコーヒーロスターにとって非常に厳しい年でした。スペシャルティコーヒーの産地価格が高止まりする中、大幅な円安が続き生豆円価は暴騰。急速な原材料費の上昇を受け入れて品質を守るか、原材料の品質を落として売価の維持に努めるか、苦しい選択を迫られ続けました。

こういった状況下ではおいそれと日本を離れるわけにいかず産地訪問を見送っていましたが、スペシャルティコーヒーロスターにとって欠かすことのできない生産国・エチオピアの品質懸念が高まっていることから、2019年末ぶりの渡航に踏み切りました。背景にあるのは2022-2023年の現地価格の暴騰です。私たちが買い付けているエチオピア産生豆は「高い品質のチェリーであれば高値で買い取る」という産地の流通網を基本としています。しかし、価格暴騰時はなんでも高値で売ってしまうため、農家の品質への関心は薄れてしまいます。その結果、産地側との関係性を継続的に構築してきた私たちでさえも、一部商品の買い付けを断念せざるを得ませんでした。

今回の訪問では当社向け商品の品質を確実にするため、海外からの訪問者はおろか現地の業者も訪れたことのない奥地の集落・農家まで足を運び、輸出業者と商品作りの流れを1から整理するなど、様々な立場の関係者と密にコミュニケーションをはかってきました。

今年も引き続き“スペシャルティコーヒーらしさ”の土台である生豆調達精度を高め、原材料高騰という厳しい環境下でも「スペシャルティコーヒーロスターのお手本」と言ってもらえるような存在を目指します。

Profile

若林 恭史(わかばやし たかし) 株式会社堀口珈琲 代表取締役社長

1980年埼玉県秩父市生まれ。2005年堀口珈琲に入社し、焙煎・ブレンド・生豆調達の担当者として経験を積む。生豆事業と焙煎豆製造・流通の各部門の統括を経て、2020年7月より現職。

2023年を振り返って

2023年は、狛江店やリキッドコーヒーのリニューアル、他にもたくさんのイベントに出展するなど、走り続けた一年でした。中でも特に印象に残ったイベントは「SCAJ2023」。9月27日から30日まで、東京ビッグサイトで開催されたアジア最大のスペシャルティコーヒーイベントです。来場者数は69,000人を超え、その数は前年の約1.5倍。年々業界に対する関心が増えていることを実感しました。

10年ぶりに出展した当社は「スペシャルティコーヒーってなんだろう?」というシンプルな問いを投げかけ、3つのテーマを順に巡るコーヒーの試飲やトーク



ブースは再生可能な資材を用いシンプルな作りに

2ページ目へ続きます



ショー、ワークショップなどを実施しました。

スペシャルティコーヒーとは、生豆産地の環境や取り組みがもたらす「個性」を風味の中に感じ楽しむものです。今回の試飲では、スペシャルティコーヒーの前提条件である“クリーン”なコーヒーの味を理解し、産地の個性を味わい、そして最終的には産地の個性すらも超えた、いわゆるスペシャルティコーヒーの「到達点」とも言えるシングルオリジンやブレンドを体験



タブロイド
「スペシャルティコーヒーってなんだろう？」

タブロイドは堀口珈琲各店舗とオンラインストアでお求めいただけます。

いただきました。多くの方がその風味に驚き、思わず詠嘆の声をもらす方も。

ブース演出は私たちが伝えたいことのほんの一部にすぎません。今回ご用意したコーヒーの背景には、スペシャルティコーヒーの歴史やクリーンなコーヒーを担保するためのさまざまな取り組みがあります。それらを紹介し、「スペシャルティコーヒーとは何か」という問いへの今現在の考えを詰め込んだタブロイド紙を配布しました。

スペシャルティコーヒーの風味を理解してもらうこと。今回のこの出展目的は達成できたのではないのでしょうか。そして「スペシャルティコーヒーってなんだろう？」という問いは、SCA 展示会にとどまらず、今後も継続的に投げかけてまいります。

詳細のレポートはこちらよりご覧いただけます。
<https://www.kohikobo.co.jp/channel/19541/>



解説に熱が入る上原店の店長・後藤



ワークショップ「ブレンドづくり体験」の様子



CSO伊藤の第8回 コーヒーとSDGs

Profile
伊藤 亮太 株式会社堀口珈琲 取締役CFO (最高財務責任者)
(いとう りょうた) / CSO (チーフ・サステナビリティ・オフィサー)
2003年入社。2013年4月から2020年6月まで代表取締役社長を務め、2020年7月より現職。

コーヒーと平和

「Planet (地球)」(目標 12 ~ 15)に続き、今回はSDGsの5つのPのうち4つ目である「Peace (平和)」(目標 16)を取り上げます。「平和」にはさまざまな意味がありますが、SDGsでの「平和」とは心や精神の安らぎや平安というよりも恐怖や暴力のない状態を指します。そうした意味での平和をコーヒーが作り出すことはできません。しかし、より平和な社会を築く助けになることはあります。その事例としてルワンダでの取り組みをご紹介します。

続きは“知る・深める”をご覧ください。 <https://www.kohikobo.co.jp/pedia/1386/>



最新情報は
SNSで
随時更新中!



業務用コーヒーについて
発信しています!

@instagram
堀口珈琲ホールセールアカウント
@horiguchicoffee_warehouse

その他 SNS はこちら

@horiguchicoffee
@horiguchicoffee
@kohikobo

取材や掲載に関する
お問い合わせ先

株式会社堀口珈琲
広報担当：中川紗彩
TEL: 080-7333-4691
Email: s.nakagawa@kohikobo.co.jp
広報サポート
出口はる (フリーランス PR)
TEL: 090-2319-5605
Email: haru@deguchi-pr.jp

堀口珈琲 ブランドサイト
<https://www.kohikobo.co.jp/>



店舗情報
<https://www.kohikobo.co.jp/shop/>



堀口珈琲 オンラインストア
<https://kohikobo.com/>



堀口珈琲の「今」を伝えるニュースレターを配信中!
ニュースレター バックナンバー
<https://www.kohikobo.co.jp/news/newsletter/>

